

七光保育所



石州瓦を使い落ち着いた雰囲気になった七光保育所—
島根県吉賀町七日市

耐久性高く自慢の園舎

島根県吉賀町七日市の七光保育所は今年3月に竣工（しゅんこう）された。石州瓦の屋根が特徴的な広い平屋の園舎になっている。斎藤盛彦理事長（58）は「子どもたちの思い出に残つと雨漏りが発生。壁に亀裂も入っていた。新園舎は、耐久性が高く川と山に囲まれた自然と景観にもマッチした石州瓦を選択した。石州瓦は一般的に、赤瓦が主流だが、七光保育所の屋根は、理事長の考えで、濃淡の微妙に違

る金属製の屋根だったが、耐久性が低いため年数が経たず、雨漏りが発生。壁に亀裂も入っていた。新園舎は、耐久性が高く川と山に囲まれた自然と景観にもマッチした石州瓦を選択した。石州瓦は一般的に、赤瓦が主流だが、七光保育所の屋根は、理事長の考えで、濃淡の微妙に違

う三色の瓦を配置、焦げ茶色の落ち着いた昔風の屋根を再現。園児の安全を考慮し、雪が屋根から落ちにく

築設計舎が手掛けた。斎藤理事長は「自然の多い周囲の景観にふさわしい園舎に満足している。」



七光保育所理事長

斎藤 盛彦さん